

施設葬について

特別養護老人ホーム羽鳥の森

施設概要

平成23年10月に静岡市葵区羽鳥に開設した特別養護老人ホームです。ユニット型特養定員110名、短期入所10床、デイサービス定員30名、居宅介護支援事業所を併設しています。

特養の平均介護度は3.8です。日常生活継続支援加算を算定しており、算定要件である認知症日常生活自立度Ⅲ以上の方が多く入所しています。年間40人のお看取りをしています。





取り組んだ課題

葬儀とは何でしょうか。お弔いとは何でしょうか。あなたは、わたしは、どうやって弔われたいと思っているのか。

葬儀とは？・・・盛大に飾られた祭壇、見知らぬ人々、続々と集まる宗教家、矢継ぎ早に課金されるオプション、何もかもが不透明で高額な費用.....。（あくまでも個人的な感想です）

「私たちの手で、もっと故人に寄り添うご葬儀が作れないものだろうか？」

現代において「葬儀」の在り方が問われています。かつては多くの葬儀場で行われていた大規模葬も、いまの主流は家族葬や密葬、自宅葬に代わってきました。「葬儀の小規模化」が進むとともに葬儀の在り方、考え方も変化が表れてきたように思います。「看取り」を行う特別養護老人ホームが「病院」、「自宅」に次ぐ「第三の死場所」と呼ばれたように、特別養護老人ホームの「施設葬」は「葬儀場」「自宅葬」に次ぐ「第三のお葬式」になりうる可能性を秘めているのではないのでしょうか。

具体的な取り組み

施設葬のご案内

入所時に葬儀会社が決まっていなの方に、施設葬をご案内しています。実際の葬儀の執り行いは「裾野市民葬祭あそか」に協力してもらっております。

対象となる方

- ・ 葬儀場の営む互助会に加入しておらず、葬儀場の当てがない。
- ・ 本人の暮らした土地を離れて、家族が住まう土地の施設に入所したため、積み立てた葬儀費用が使用できない。
- ・ 本人に身寄りがなく、認知症を患うため、菩提寺や互助会について不祥になってしまった。

施設葬について

葬儀場の当てがなければ、施設の中でお弔いいたします。
居室、相談室などに祭壇を組み、葬儀場所にします。

施設葬の料金

「施設葬（裾野市民葬祭あそか）」の施設葬料金表

施設葬基本パック（直葬セット）は195,000円から。

基本パック
（業界最安値） **195,000円**

基本パックの内容・・・安置、骨壺、火葬、埋葬許可申請、ドライアイス、消臭剤、仏衣、顔かくし、合掌バンド、火葬場までの寝台車、野膳、花立、線香、ろうそく、進行スタッフ1名

基本パックだけでお別れ会～火葬、埋葬まで完結！その他の追加費用は発生しません！



各種オプションの例

オプションを付けることも可能です！

生花祭壇オプション

ご希望により様々なオプションに対応します。生花祭壇オプションは80,000円からご用意しております。居室内、または葬儀を行うお部屋の中に祭壇を組みます。

霊柩車オプション

寝台車の代わりにお好みの霊柩車を選ぶことができます。リムジン、ロールスロイスなど、30,000円からご用意しております。

病院から施設への遺体送迎

病院でお亡くなりになった場合も施設までご遺体を運び、施設葬を行います。病院から施設への遺体送迎は45,000円です。（車両代、燃料代、運転手代、緊急出動代含む）

宗教家オプション

ご希望の宗教の宗教家を手配します。ご希望がない場合は「あそか」と提携している宗教家を派遣します。宗教家オプションは100,000円からです。



今まで行われた施設葬の例

ケース：親族のいない方の施設葬

A様は長らく精神病院に入院しており、身寄りはないものとされていた。当人の高齢化により精神病院から特別養護老人ホームに居所を移すこととなり、施設暮らしが始まる。音信不通だった当人の母親が死去したことで遺産相続が発生し、相続手続きを担当した司法書士がA様の居場所を発見。身寄りが見つかったが、長らくの音信不通の状態から親族は関わりを拒否。再び、身寄りのない状態になったA様が急死。

親族は遠方に暮らしているため、施設で葬儀を行い、火葬場へ送ることとなった。死亡診断後、A様の居室を安置所にして簡易の祭壇を設置。職員らが訪室して線香を焚く。葬儀場スタッフによる読経を済ませて、火葬場に移送。火葬場で親族と落ち合い無事に火葬が行われ、遺骨は親族が引き取った。



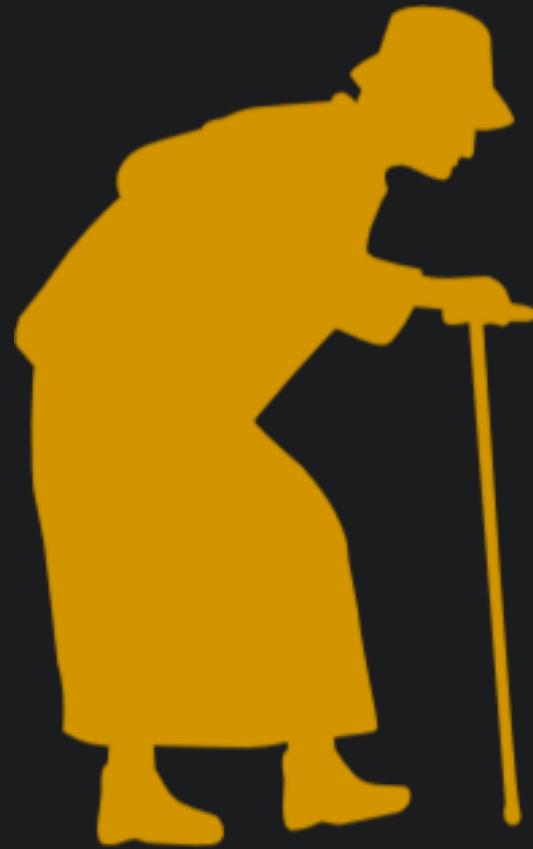


施設が行ったはじめての施設葬。

身寄りがない方が亡くなったときはどうしよう、
と不安がりましたが無事にお見送りができて
良かったです。

居室に安置されたA様に多くの職員が
お線香をあげました。

ケース：親族不在の入居者様の葬儀



B様は、遠方に住むご姉弟が身元引受人でした。お子様がいらっしゃらなかったため、B様のキーパーソンは、遠方に住む弟様でした。弟様も高齢で、面会に来る機会はほとんどありませんでした。B様がお看取り期に入ると、葬儀場の当てがなく、キーパーソンも土地勘がないため、施設が葬儀を請け負うことになりました。

相談室を葬儀場として、湯灌後に納棺し、祭壇を設置しました。提携している宗教家が派遣され、簡略の葬儀と初七日を執り行いました。参列者は、B様のケアにあたった職員と、B様のユニット内のご友人でした。焼香の後、施設から霊柩車によって火葬場へ移送され、遺骨は弟様が引き取りました。



葬儀場のあてが無く困っていた家族に
施設葬をおすすめしました。

宗教家が読経する中、多くの職員やご利用者が
焼香をあげておられました。

ご逝去の際には施設が葬儀を行うことができる。
それがご家族の安心感につながりました。

ケース：病院からのご遺体搬送

C様は、病院でご逝去されました。ご家族は、施設葬を希望されていましたが、C様の体調不良により病院に入院されました。入院が長期化し、C様の状態も変化していきました。その後、施設を退所し、入院先の療養病棟に入所が決められました。数か月の療養病棟生活の後、C様はご逝去されました。ご家族の希望で、御遺体は施設に帰り、施設葬を行うことになりました。丁度、空床があったため、C様の御遺体は特養の空床に安置されました。深夜となっていたにも関わらず、かつてケアを担当した職員が次々と施設に来てC様を訪室しました。翌日、ご家族と施設職員が久々に再会し、厳かにC様の葬儀が行われました。





入院が長引き、施設をご退所になってしまいましたが、
—ご逝去の折には施設に戻り葬儀をあげたい。—
ご家族のたってのご希望の通り、
病院で亡くなったその夜にC様は施設に運ばれてきました。
施設が空床を利用してお迎えし、翌日無事にご家族と一緒に
職員でご葬儀をあげることができました。
最後の最後に施設の責任を果たすことができたと思っています。



施設葬のメリット

- ・ 職員やご希望されるご入居者様がいらっしゃれば一緒にご焼香ができます。ご友人にお見送りされれば故人も喜ぶと思います。ご入居者様が手を合わせて焼香し、ねぎらいの言葉をかける光景は、施設から離れた葬儀場で葬儀が行われれば見ることはできません。施設の入所期間が長くなるとご葬儀を行っても、ご家族の知人・関係者など本人とは無関係、或いは関係が疎遠の方が葬儀に参列することが多い傾向にある。故人を知る人間たちでお見送りできることは、とても良いことに思えます。



施設葬のメリット

- また施設葬は安価です。葬儀場代もかかりません。
葬儀の中で最も高額になる「宗教家」を介する必要がありません。
霊園と提携すれば寺院の檀家になる必要もありません。永代供養ができる墓苑もあります。
費用面で心配がないので、故人を悼むためのオプションを考えることができます。
お部屋を埋め尽くすほどのたくさんのお花を飾ることもできます。



施設葬のメリット

- ・ 施設で行われる葬儀のかたちは自由です。
難しい段取りを覚える必要はありません。
気兼ねなく、故人にお別れを伝えることができます。

お別れに堅苦しきは不要です。

故人様の最期をよく知る職員たちと語りいながら故人様を偲ぶことができます。

生前のお姿に参列する一同で想いを馳せる。それがお弔いになるのではないのでしょうか。

今後の展開

現状、「施設葬」に対して提携葬儀会社である「裾野市民葬祭あそか」さんにお任せする部分が多く、「施設サービス」になり得ておりません。施設がもっと職員の気持ちを込めてプロデュースできる部分があると思います。

ドライアイス、祭壇、霊柩車の手配や死後事務などが煩雑になるので、つい葬儀会社に頼ってしまいますが、将来的には自分たちの手も加えて、献花台を設置したり花入れの儀の実施したり、ご利用者友人や職員からの弔辞等々、より豊かで故人に向き合った施設葬を追求していきたいと思います。施設葬のご希望が増えましたら、館内に葬儀委員会を設置するなど、葬儀も特養が請け負うサービスの一環と捉えて、より良いサービスを追求したいと思います。

私たちは職責を掛けて全力でお弔いを致します。



裾野市民葬祭 あそかについて

いざというときの出張葬儀を執り行います。
葬儀でお困りの方は24時間ご連絡ください。

裾野市民葬祭あそか

緊急時のご連絡先

Tel: 0120-72-7722

24時間対応いたします。

〒410-1108

静岡県裾野市上ヶ田155-10



ご清聴ありがとうございました

特別養護老人ホーム」羽鳥の森